

福島県中小企業家同友会

DOYU FUKUSHIMA

vol.551
2
2026



東北エスケー商会

いま、この人 (相双支部)

落合 康弘さん

(株)東北エスケー商会

特集

まずは、
知ることから始める

活動報告・専門委員会により
いま思うこと

福島県中小企業家同友会 **2025年度スローガン**

**21世紀型中小企業づくりを進め
真の人間尊重の社会をめざそう**

同友会運動の新しいステージに向けて、
人を生かす経営の実践から確立へ

支部ニュース

郡山支部 / 1月例会
福島支部 / 1月例会
あだたら支部 / 12月例会
須賀川支部 / 12月例会
会津支部 / 1月例会
相双支部 / 1月例会
白河支部 / 1月例会
いわき支部 / 12月例会
田村支部 / 12月例会
喜多方支部 / 12月例会
南会津支部 / 12月例会

Check 各支部の活動の様子は
こちらをご覧ください



www.fdoyu.or.jp



「安全の一步先」を目指す 企業づくり

対応しやすい点が当社の強みです。山形と福島の間社間の運搬も非常に円滑です」と現状を説明していただきました。M&A当初は社員との軋轢もあったそうですが、定期的な面談を重ねることで、現在は良好な関係を築いているとのことでした。

雇用の幅を海外まで

現在、(株)東北エスケー商会には社員・パート合わせて19名が在籍しており、加えて外国人研修生も受け入れています。研修生の受け入れを始めた背景には、離職率の高さや求人難しさがありました。業界全体として離職率が高まっていることに加え、地域に若者がいない、また戻ってこないという課題があります。その中で外国人労働者に注目し、当社ではインドネシアから3名の研修生を採用しました。直接現地に赴き、どのような環境で学んできたのか、何を学びたいのかを確認した上で受け入れているため、とても勤勉に取り組んでくれています」と落合さん

は話します。このほかにも、大卒とのマッチングを進めるなど、多様な雇用形態の可能性を模索しています。

安全の一步先へ

「当社の仕事は現在B to Bが中心ですが、今後はB to CやB to Gへの展開も視野に入れています。基本的な事業は変えず、メンテナンスやアフターケアを含め、お客様の幅が広がっても対応できる仕組みを検討し、実践していく必要があります。そのためにも、会社の存在意義を明確にしていきたいと考えています」「まずは(株)東北エスケー商会としての経営指針の策定を目指しています。山形の本社で掲げている理念に『安全の一步先へ』という言葉があります。これはお客様だけで

は話します。このほかにも、大卒とのマッチングを進めるなど、多様な雇用形態の可能性を模索しています。

(株)東北エスケー商会 代表取締役 落合康弘さん

事業内容

(株)東北エスケー商会は、相馬市に拠点を置き、工業用品のクリーニングを主業とする企業です。1983年の創業以来、県内外の各種イベントや工事現場で使用されるイベント用テント、建設用資材、飼料バッグなどのクリーニングを中心に、販売レンタル、資材リース事業を展開しています。

経営理念の策定とM&A

社長の落合さんは、2023年に福島同友会へ入会しましたが、それ以前から山形同友会に所属していました。山形県にある2003年創業の(株)東北仮設サービスの代表取締役も務めています。「(株)東北仮設サービスは、私が大学を卒業する頃に父が独

立し、当時の仲間たちと立ち上げた会社でした。しかし、さまざまな事情から仲間が離れていき、父に呼ばれて入社しました。2022年に事業承継を行いました。社長に就任しました。社長就任前から山形同友会で学び、経営指針・理念を策定し、現在は「現場づくり最適化業」を目指しています」と語ります。

(株)東北エスケー商会は2023年にM&Aによって事業承継し、落合さんが社長に就任しました。「銀行からM&Aの話があり、同じ仮設工事・建設資材関連分野に携わっていることから、シナジー効果を期待して決断しました。原価上昇が続く中でリース需要が高まっていること、また複数の運搬車両を保有しているため、祭事などの際にも規模や対象者ごとの多様なニーズに

なく、社員に対しても「(株)東北仮設サービスは安全のその先を見据え、考えて行動する会社である」という想いを伝えるためにつくった理念です。そうした企業としての確固たる柱を築くことが、これからの時代を生き残るために不可欠だと考えています。(株)東北エスケー商会にも、同様の柱をつくっていただきたいです」と、今後の展望を語っていただきました。



(株)東北エスケー商会

事業内容：工業用品のクリーニング・リユース、資材レンタル・リース

住所：相馬市馬場野字福迫 417-1
TEL：0244-36-6295
FAX：0244-36-6824
資本金：1000万円
社員数：19名



レポート／(株)広栄土木 小幡広宣(相双支部)、(株)伊藤市郎商店 伊藤順一郎(相双支部)



いまこの人は
動画でも配信中!

今すぐCHECK!





まずは、知ることから始める

— 障がい者委員会の実践と、その先にあるもの —

2025年度から「人を生かす4委員会」ではエリア制を導入し、各エリアごとに活発な委員会活動を行っています。障がい者委員会では、障がい者雇用をより身近に、そして自分事として考えてもらう機会をつくる、さまざまな活動を実施しています。今回は、4エリアにおける今年度の取り組みをご紹介します。

委員長挨拶



障がい者委員長
柳田佳子さん
㈱オフィスゼロ 代表取締役社長

今年度よりエリア制が導入され、体制が大きく変わりました。これまで障がい者委員会がなかった支部でも同じ学びを共有できるように、仲間と共に活動の幅が広がっています。エリア制の最大のメリットは、支部を越えた交流が増え、多様な情報や意見を交わしながら学びの質がより深まっていることだと感じています。

障がい者委員会の役割は、「障がい者を正しく知ってもらうこと」「企業と障がいのある方をつなぐこと」「雇用だけでなく仕事を依頼する関係づくりを進めること」です。人手不足が叫ばれる今、障がいのある方が力を発揮できる場があることを一人でも多くの企業に知っていただくために、皆さんと共に活動を広げてまいります。

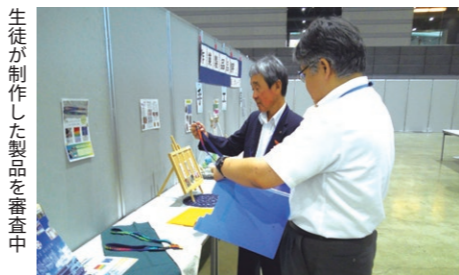
県の活動について

毎年開催される「特別支援学校作業技能大会」に同友会は名義後援として参画しています。この大会は、県内の特別支援学校高等部の生徒が集い、日頃の学習成果を発表し、外部専門家から客観的な評価を受けることで、就労促進や自立・社会参加をめざす大会です。生徒の多様な力を発揮できる3部門で構成。まず「作業検定部門」では、ビルクリーニング、パソコンデータ入力、喫茶接客サービス、店舗販売の4種目について、規準に基づき作業技能を評価・認定。「作業製品評価部門」では、生徒が制作した製品を展示し、品評規定に沿って表彰が行われるほか、製品のプレゼンテーションも実施されます。「あん摩・鍼灸評価部門」では、外部専門家が生徒の施術技術を評価。同友会会員は各部門の外部専門家として審査員も務め、生徒一人ひとりが将来の夢に向かって自信をもって挑戦できるよう後押しをしています。

さらに、2年に1度開催される「障害者問題全国交流会（障全交）」への参加。今回は10月9・10日に「第23回障害者問題全国交流会in青森」が開催され、「労使見解」や「人間尊重の経営」「共育」「人を活かす経営」への理解を深め、新しい時代の働き方について多様な参加者が意見を交わしました。さらに、人を生かす経営は目的ではなく、「人が生きる社会」をつくるための手段であり、経営者の使命であることを再確認しました。

その他、福島県障がい者工賃向上プラン推進会議や各自治体の自立支援協議会にも障がい者委員が参画し、地域の支援体制づくりにも貢献しています。

「人を生かす経営」には、豊かで幸せな職場



視覚支援学校の点字の封筒作り体験 生徒が制作した製品を審査中

県中県南エリア

県中県南エリアでは、中小企業における障がい者雇用の推進を目的に、今年度は移動例会や支援学校見学を積極的に開催しました。実際の現場に足を運ぶことで、障がい者雇用をより具体的に捉え、自社での取り組みを考えるきっかけづくりを行っています。

10月には、新潟同友会にて障がい者雇用に取り組む2社の見学視察を実施しました。実際の職場環境や働く様子を見学し、各社の取り組みや考え方に触れることで、障がい者雇用への理解を深めました。

また11月には県立西郷支援学校、1月にはあぶくま支援学校を見学しました。障がいのある子どもたちが学習や製品づくりに取り組む姿を通して、障がい者雇用の重要性や企業への役割について認識を新たにする機会となりました。



㈱With You(新潟同友会)の企業見学

県北エリア

県北エリアでは、障がい者雇用をより身近に感じていただくことを目的に、実際に障がい者雇用に取り組んでいる会員企業による事例報告や企業見学を実施しました。交流や情報交換の場を設けることで、障がい者への理解を深め、地域福祉への貢献につながる活動を進めています。

事例報告では、障がいのある方への基本的な理解や各企業の取り組み状況についてお話を伺いました。身近な職場環境における障がいのある方の活躍の様子を知ることができ、参加者にとって大変貴重な機会となりました。

また企業見学として、12月には福島市の㈱同仁社を訪問しました。実際の職場環境を見学し、事業所の生の声を直接伺うことで、障がい者雇用の現場を具体的に学び、今後の繋がる有意義な時間となりました。



障がい者雇用に取り組む企業の生の声を伺いました

会津エリア

会津エリアでは、「障がい者雇用への理解を深める」ことをテーマに委員会活動を行っています。今年度は会津支援学校を訪問し、教育現場での工夫や、生徒一人ひとりの特性に寄り添った就労支援の取り組みを学びました。高等部には木工、農芸、リサイクルなど7つの作業班があり、将来の働く姿を見据えた実践的な学びが丁寧に積み重ねられていました。見学後は、会員企業の中から職場実習の受け入れを検討し、先生方へ相談する動きも見られました。見学を通じて、障がい者雇用は特別なものではなく、業務整理や伝え方の工夫を通じて、誰もが働きやすい職場づくりにつながる取り組みだと実感しました。支援学校との連携は、人材育成や採用を考える上でも新たな可能性を広げてくれます。今後も現場の学びを経営に生かし、会員間で共有していきます。



高等部農芸班の落花生畑(夏)を見学(会津支援学校)

浜エリア

浜エリアでは今年度、いわき支部・相双支部での活動を継続しています。

いわき支部では「障がい者雇用で会社の課題を解決する」ことを目標に、セミナーや勉強会を実施しました。5月には、㈱マルチグループホールディングスの石山氏を講師に迎え、「よく知ることから始めよう」障がい者雇用について」をテーマに公開セミナーを開催しました。

また11月には、県立いわき支援学校くぼた校の学校見学会に参加し、知的障がいのある生徒の学習の様子を通して、支援学校の現場への理解を深めました。

相双支部では1月に、南相馬市・飯館村地域自立支援協議会による支援学校見学会に参加しました。特別支援学校や就労継続支援B型事業所の取り組みを見学し、相双地方の実態を知るとともに、福祉的就労や障がい者雇用推進につながる交流の機会となりました。



「知ることから始めよう」障がい者雇用の第一歩を共有しました

社員共育委員会

第21回同友会共育塾 第2講座開催のご案内

共育塾とは、経営者と幹部社員が共に目指す方向性を明確にし、それぞれが感じることをお互いの視点を持った上で、共有や意見交換を通し共に育つ場として開催している、同友会ならではの研修会です。

共育塾では、共育の実践を学ぶ場として、毎回会社訪問をさせていただいています。

今年度第1講座は会津支部・(株)金堀重機 代表取締役 春田一真さんと幹部社員3名の報告と、会社見学を実施しました。実際に会社の見学をさせていただきました。他業種で普段滅多にみる事の出来ない重機や、働く社員の方の様子を直接見ることができ、また、社員の方の率直な会社への想いを伺い大変、貴重な機会となりました。

今回第2講座では、須賀川支部・(株)おしやれ劇場を訪問の上、会社見学を行い、代表取締役 菅野陽平さんと幹部社員の方にご報告をいただきます。



(株)おしやれ劇場 代表取締役 菅野 陽平さん

されています。

今回は「やり方より、あり方——社員が、自分で動く会社はどう作る?」をテーマに、菅野社長からの報告と、幹部社員3名にも幹部としての視点からご報告いただきます。

つまずきの連続の中、何を放手し、何を握りしめたのか、完成形ではなく、悩みも失敗もそのまま共有し、皆さんと一緒に考える時間となっています。

是非、経営者と幹部、幹部候補の社員の方と一緒にご参加ください。おひとりでの参加も可能です。

日時/3月2日(月)11:00~

会場/ (株)おしやれ劇場・須賀川市民交流センター tette (※(株)おしやれ劇場へ集合し、会社見学後、報告会会場の須賀川市民交流センター tette へ各自移動いただきます。)

第56回中小企業問題全国研究集会 in 岩手

3月5日・6日(木・金)に第56回中小企業問題全国研究集会が岩手の地で開催されます。本大会は、同友会運動の新たな段階を切り拓くために、地域に仕事と雇用を生み出す実践を学び合い、「人を生かす経営」を軸とした21世紀型企業づくりを全国で前進させることを目的としています。

また、中小企業憲章・中小企業振興条例の理念を広げ、経営環境の改善と中小企業の社会的地位の向上をめざします。併せて、時代の転換期にあつて時代認識を深め、平和で持続可能な社会づくりにおいて中小企業が果たす役割を確認し、実践につなげる場とします。

今回のテーマは「世界ぜんたいが幸せにならなければ、個人の幸せはありえない」。人口減少、地域の衰退、国際情勢の不安定化など、先行き不透明な時代だからこそ、企業の存在意義や地域に根ざす経営の役割が改めて問われています。

1日目は全14の分科会にて、経営姿勢の確立、経営指針の実践、事業承継、人材育成、外国人雇用、環境経営、地域づくりなど、いま経営者に求められるテーマについて、実践報告



と討論を通じて深めていきます。記念講演では、東日本震災や台風被害という幾度もの危機を乗り越え、雇用を守り抜き、地域とともに歩んできた岩泉ホイルディングス(株)・山下欽也氏が登壇。中山間地域から挑戦を続けてきた実践に学びます。

また特別企画「東日本大震災から15年」では、震災直後、「社もつぶさない、つぶさせない」を掲げた岩手同友会における地域の「インフラ」としての役割を取り戻してきた実践を振り返ります。企業家としての矜持と地域復興への覚悟を次の世代へどう引き継ぐのか、そして今後起こりうる危機に私たちはどう向き合つたかを、あらためて自分ごととして考える機会とします。

「地域に根ざす中小企業にできること」を全国へ発信する2日間であり、自社の経営と地域の未来を見つめ直す貴重な機会です。ぜひご参加ください。

地球温暖化



東北ガス販売(株) 取締役副社長 佐藤 和彦さん (福島支部)

私たちの子供のころの気温と今の気温は比べ物にならないくらい変化しました。いや激変したと言ってもいいくらいだ。私たちLPガス会社は24時間365日、保安業務「安全管理」を担っている。それはお客様

今年、ついに還暦を迎える。そんな私の趣味はレコード鑑賞である。中高生の頃、欲しくて小遣いが足りず指をくわえて眺めていた洋楽ロックの名盤を、今になって中古レコード屋で探しては自宅のオーディオで



(有)鈴木組 代表取締役 鈴木 一夫さん (喜多方支部)

還暦男子の趣味と推し活



趣味や事業紹介、仕事のこだわりなど、自由なテーマで執筆いただいています。

楽しむのである。レコードの楽しみ方は、音を聴くだけではなく、ジャケットを手に取り、盤を選び、針を落とすまでの時間をすべてを贅沢にやや不便に味わうことにある。

様にご一緒安全・安心をお届けしているからだ。温暖化でその保安業務が脅かされかねないことが起こっている。40度を超える中「工事」「配送」「検針」と体を酷使しながらの業務に今までのやり方では通用しなくなってきた。暑さ対策のユニフォームやドリンクを用意

しても追いついていけない。従業員の健康管理に一層の知恵を絞らねばならない。その傍ら果樹農家(兼業農家)をしている。今年で10年目を迎えた。桃、りんごを栽培しているがここにも温暖化の影響が出ている。福島は全国でも屈指のフルーツ王国だが以前の栽培技術が通用しなくなってきた。果樹の色付きが悪く軟化傾向にある。新品種に植え替えているが最低



- 5月28日・郡山ビューホテル アネックス・記念講師 中村朱美氏
議題6・2026年全支部全理事研修交流会開催の審議
協議事項 2026年度活動スローガン(案)、重点課題項目(案)について
報告事項 真部正美会員増強委員長より、会員数の推移・2025増強目標・増強還元金・全国会勢の報告があった。
報告事項 鈴木隆将情報管理委員長より、e・douu利用状況の報告があった。
報告事項 樋口静克経営労働委員会より、第31期経営指針を創る会の進捗報告・発表会の案内があった。
出席者/藤原賢一、佐戸川政実、曾根佳弘、渡辺啓治、平石秀樹、香西良浩、鈴木信雅、小椋辰也、高崎文孝、芳賀浩、三津間謙一、酒井源喜、佐藤有史、小幡広宣、増子国安、丹野勇雄、伊藤一三、荒川健吉、樋口静克、波谷裕司、柳田佳子、五十嵐隆男、大内政雄、遠藤徳喜代、真部正美、鈴木成保、井上緑也、佐藤光一、鈴木隆将、遠藤秀輔、鈴木恵、目黒章三郎、佐藤智明、遠藤修司、34名。

常任理事会 報告

(1月6日ハイブリット)

- 審議事項
議題1・県中東南エリア経営労働例会開催の審議
議題2・第21回共育塾第2講座開催の審議
議題3・合同入社式・新入社員研修開催の審議
議題4・第49回全県企業家フォーラム収支の審議
議題5・次年度県総会日程、会場、記念講師の審議
議題6・第49回全県企業家フォーラム収支の審議
議題7・遠藤修司いわき支部専務理事より、第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。
議題8・合同入社式・新入社員研修開催の審議
議題9・合同入社式・新入社員研修開催の提案があり、審議の結果、承認した。
議題10・第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。
議題11・遠藤修司いわき支部専務理事より、第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。
議題12・遠藤修司いわき支部専務理事より、第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。
議題13・遠藤修司いわき支部専務理事より、第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。
議題14・遠藤修司いわき支部専務理事より、第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。
議題15・遠藤修司いわき支部専務理事より、第49回全県企業家フォーラム収支の提案があり、審議の結果、承認した。

2026年春入社

合同入社式&新入社員研修

会員企業で働く
フレキシブルな仲間
集合!



郡山会場 4月1日(水)

- 入社式 13:00~/ミューカルがくと館中ホール
 - 研修 14:30~/宝来屋 ポンズアリーナVIPルーム
- ※参加者特典として、当日のポンズ試合観戦つき

福島会場 3月30日(月)

- 入社式 10:00~/●研修 11:30~/
- キョウワグループ・テルサホール [入社式・研修とも]

会津会場 3月26日(木)

- 入社式 10:30~/●研修 11:30~/
- 会津若松市立生涯学習総合センター(会津稽古堂)多目的ホール [入社式・研修とも]

いわき会場 3月27日(金)

- 入社式 10:30~/●研修 11:45~/
- いわき産業創造館・企画展示ホール [入社式・研修とも]

まもなく新入社員を迎える季節となりました。同友会では、新入社員の皆さんが、同友会加盟企業の同期の仲間と共にスタートする喜びをわかちあい、企業の未来を託す人材へと一日も早く成長していただくようお願いを込めて、合同入社式と新入社員研修を開催いたします。県内のご都合の良い会場をお選びのうえ、多くのご参加をお待ちしております。

- 【合同入社式】 参加費 1人3,850円(記念写真・記念品代含む)
- 【新入社員研修】 1人3,850円(昼食代・テキスト代含む)

同友会三つの目的

1. 会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくろう。
1. 相互に人格を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけよう。
1. 中小企業をとりまく経済環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させよう。

新|会|員|情|報|

- ①会社名 ②役職 ③住所 ④電話番号
⑤事業内容 ⑥紹介者

入会おめでとうございます!
皆様よろしくお祈りします

福島支部
佐川 貴志さん

- ①樹スカイバスタソシエイツ
- ②取締役、経営戦略本部長
- ③仙台市宮城野区権岡4-6-1 東武仙台第1ビル3F
- ④022-775-1122
- ⑤縮緬式織・筒着染・縮緬相談所の運営
- ⑥三津間謙一さん



福島支部
内田 恵さん

- ①樹エイタック
- ②代表取締役
- ③福島市南矢野目字鼓田13-7
- ④024-553-5533
- ⑤湿式建材の販売と特殊な工事・改修工事
- ⑥田村嘉久さん



福島支部
佐藤 匠さん

- ①樹匠
- ②代表取締役
- ③福島市飯坂町平野字地蔵北9-4
- ④024-502-8816
- ⑤油圧ホース及び高圧ホースの製作・販売・修理
- ⑥橋本昭夫さん



福島支部
来海 昌哉さん

- ①樹ココラム
- ②代表取締役
- ③福島市大波字大西2-1
- ④024-586-2770
- ⑤映像制作・広告制作・ブランディング
- ⑥山本裕行さん



いわき支部
吉田 郁弥さん

- ①盛喜石油(株)
- ②取締役
- ③いわき市小湊大原字西畑野地22番地
- ④0246-54-6098
- ⑤産業廃棄物処理業、再生油販売、石油製品販売
- ⑥吉田忠義さん



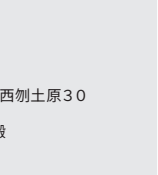
郡山支部
鈴木 順親さん

- ①樹サンレー郡山
- ②代表取締役
- ③郡山市並木4-11-1
- ④024-935-3192
- ⑤建物解体・産業廃棄物収集運搬
- ⑥二瓶孝吉さん



郡山支部
佐久間ルミさん

- ①南佐久間産業
- ②代表取締役
- ③郡山市逢瀬町多田野西列土原30
- ④024-957-2179
- ⑤産業廃棄物収集・運搬
- ⑥余川美咲さん



白河支部
遠藤 司さん

- ①樹三森電機
- ②製造部長
- ③東白川郡棚倉町逆川字前山1-27
- ④0247-33-0020
- ⑤電気工事業
- ⑥三森稔治さん



相双支部
松本 卓真さん

- ①樹マツモト
- ②代表取締役
- ③南相馬市原町区高見町1-160
- ④0244-23-3009
- ⑤ガソリンスタンド・LPガス
- ⑥小幡広宣さん



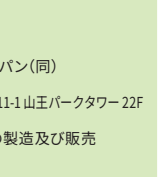
いわき支部【名義変更】
上條 博英さん

- ①ひまわり信用金庫
- ②理事長
- ③いわき市平字二町目10
- ④0246-23-8500
- ⑤預金、貸出、為替



郡山支部【名義変更】
原 大吾郎さん

- ①フィリップモリスジャパン(同)
- ②郡山営業所所長
- ③東京都千代田区永田町2-11-1山王パークタワー 22F
- ④080-3465-0115
- ⑤加熱式たばこIQOSの製造及び販売



福島同友会会員数(1月末現在)	郡山	福島	あだたら	須賀川	会津	相双	白河	いわき	田村	喜多方	南会津
1,826名	450名	380名	48名	39名	226名	75名	156名	345名	57名	30名	20名

DOYU FUKUSHIMA

2026年2月号 vol.551

福島県中小企業家同友会

〒963-8005 郡山市清水台1丁目3-8 郡山商工会議所会館5F
 本部事務局 / TEL.024-934-3190 FAX.024-934-3089
 発行責任者 / 会長 齋藤 記子
 編集責任者 / 広報報道委員会委員長 佐藤 光一
 定価 / 200円
 HP: www.fdoyu.or.jp E-mail: fdoyu@fdoyu.or.jp
 e.doyu: https://fukushima.e-doyu.jp



行事の確認は e.doyuから!!

事務局通信

何やら最近、目のかゆみとくしゃみが出てきました。顔も赤くヒリヒリとしており、乾燥なのか花粉なのか…と首をかしげる日々です。

そんな中、テレビから「今年は全国的に花粉が例年を上回る飛散量が予想されています」というフレーズが聞こえてきました。毎年この言葉を聞いているような気がしてなりません。

昨年も花粉にはかなり悩まされました。くしゃみも止まらず、頭痛や眠気、目のかゆみとの闘いが続きます。スギ花粉が終わったかと思えば、次はイネ科の花粉。気がつけば、年中花粉症のような状態です。

気候が暖かくなるのは嬉しいことですが、年々増え続ける花粉に比例するように、症状も年々重くなり、マスクや目薬が手放せません。今年こそは、早めの対策で少しでも快適にまずは春を乗り切りたいと思います。(K.I)